

単元名 花をさかせたあと

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 植物の育ち方を理解するとともに、器具などを正しく扱って観察を行い、その結果を分かりやすく記録することができる。
- (2) 身近な植物の様子について、差異点や共通点を基に問題を見だし、表現するなどして問題解決することができる。
- (3) 身近な植物の様子について、進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとするとともに、学んだことを生活に生かそうとする。

標準的な展開例

03050202_001

【準備等】虫眼鏡、ものさし、タブレットパソコンやデジタルカメラ

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 育てている植物を観察して花が咲いた後に実ができる様子を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ホウセンカの育ちについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・花が散って緑色のふくらみがある。 ★ホウセンカは前とくらべてどのように育っているのかな ○実をつけたホウセンカを調べる。 ○結果を整理する。 <ul style="list-style-type: none"> 花が咲いた後に実ができていた。 ○分かったことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホウセンカは、前と比べて草丈はあまり伸びなくなり花がなくなって実ができています。 ・ヒマワリもホウセンカと同じように実ができ、種ができています。 <p>2 植物の育ちには一定の順序があることを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ★植物は、たねからどのように育つのかな。 ○育てている植物の世話を通して気付いたことを話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・花がいっぱい咲いた。 ・たくさん種がとれた。 ○ホウセンカやヒマワリの育ちについてまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・種から子葉が出た。 ・草丈が伸びて花が咲いた。 ・咲いた後に実ができ、種を残した。 ○分かったことをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホウセンカやヒマワリなどの植物は、種から子葉を出した後葉が出る。そして、草丈が伸びて葉が茂り花が咲く。 ・花が咲いた後に実ができて種を残して枯れていく。 ○マリーゴールドやナスは子葉を出した後、どのように育つか考える。 ○「たしかめ」に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の世話で気付いた変化を話し合わせて、関心をもたせる。 ・花があった部分に着目して観察するように促す。 ・前回の観察と比べて、全体の形、色、草丈、葉の数、実の形や色などを視点として観察させる。 ・ヒマワリの育ちについても観察させる。 ・一つの花からたくさんの種を残して枯れていくことを押さえる。 <p>【評】植物の成長を調べる活動を通して、「知識・技能」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの観察記録を振り返りながら結果をまとめさせる。 ・1粒の種からたくさんの種ができたことや植物が枯れていくことを押さえる。 ・これまでの記録を基に結果をまとめさせる。 <p>【評】植物の育ちをまとめる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

【 備 考 】

<関連>

- ・第4学年「季節と生き物」